



第 76 号

平成26年11月30日 発行

編集・発行

(一社)新潟県サッカー協会広報委員会

全国高等学校サッカー選手権新潟県大会

開志学園 JSC

第93回全国高校サッカー選手権大会
初戦は三重県代表 宇治山田商業と対戦決定!

1月2日(金) 2回戦 12:05~
相模原ギオンスタジアムにて試合開始予定



第93回全国高校サッカー選手権大会
新潟県大会 試合結果

- 優勝 開志学園 J S C
- 準優勝 加茂暁星高校
- 第 3 位 北越高校
- 〃 新潟工業高校

決勝戦は11月15日(土)デンカビッグスワン
スタジアムで行われました。

開志学園 JSC (3 - 0) 加茂暁星

開志学園 J S C

監督 宮本 文博

11月15日にデンカビッグスワンスタジアムで行われた第93回全国高等学校サッカー選手権大会新潟県大会決勝で、開校10年目にして初めての栄冠を勝ち取ることができました。

ご支援、ご協力いただいた大会関係者、学校関係者、保護者の方々、OB、そして高体連関係の先生方など、皆様方に厚く御礼申し上げます。

開校以来10年連続ベスト4以上、うち6回決勝進出という成績の中、7回目の決勝戦で、初めて勝つことができました。正直なところ「やっと勝てた」という心境であります。

本当に、ここに至るまでには数々のドラマがありました。我々関係者は、「選手権は永遠に勝てないのではないか。」と思ったことも何度もあります。そんな折にも、様々な方に支えていただきました。特に、下越地区をはじめ高体連の諸先生方には幾度も励ましていただき、次への力になりました。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

さて、我々開志学園 J A P A N サッカーカレッジ高等学校は、やっとなり皆様と同じスタートラインに立つことができました。お世話になった方々への感謝の気持ちをこめてさらに邁進していく所存であります。全国大会では、感謝の気持ちを胸に、新潟県代表としての誇りを忘れず、部員全員一丸となり、部員全員で闘ってまいりたいと思います。

新生 SAMURAI BLUE 初勝利!!

キリンチャレンジカップ2014新潟開催



△日本代表選手よりサインを頂きました。



© Jリーグフォト

ハビエル・アギーレ監督を迎え船出した新生日本代表は、カリブの強国ジャマイカ代表を迎えデンカビッグスワンスタジアムで開催されたキリンチャレンジカップ2014において1対0で念願の初勝利を挙げた。結果はオウンゴールであつたものの躍動する日本代表が終始その新しい力を見せつける試合でした。「初勝利を

確信している」と言うアギーレ監督、「勝ちに行く」と語っていた本田選手らのプレーと会場を埋めた満員のスタンドの声援が融合した勝利でした。酒井高徳選手はフル出場を果たし、相手の横パスをインターセプトし本田選手にパスしその後のシュートにつなげる、右サイドを攻め上がり内側へ切り込みシュートを（惜しくも相手DFに見せました。



© Jリーグフォト

大会翌日、選手は次戦に向け新潟空港からシンガポールへ向かいましたが、今後の日本代表の活躍を大いに期待し、アジアカップ連覇を応援したいものです。

チケット担当より
今回の代表戦では、当初の新潟県サッカー協会販売枠を大きく上回る希望が寄せられました。関係者の尽力により大幅に販売枠を増やし対応しましたがご希望の皆様に多々ご迷惑をおかけすることになりました。紙面を借りましてお詫び申し上げます。

長崎がんばらんば国体報告 少年男子大健闘!!

技術委員会 委員長 丸山 有一

去る10月17日より、長崎県島原市・雲仙市において第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体」サッカー競技が開催され、本県は昨年同様少年男子、女子の2種別が北信越国体を突破し本大会に出場しました。はじめに、各方面において強化活動にご尽力、ご協力いただきましたすべての皆様にご挨拶を申し上げます。以下、簡単にありますが、本県での戦いぶりについて報告させていただきます。

はじめに少年ですが、皆様ご承知のとおり1回戦栃木県、2回戦岡山県、準々決勝宮城県と3県を下す快進撃を見せ、準決勝では優勝した神奈川県に力及ばず敗退しましたが、少年の部では本県過去最高となるベスト4進出の快挙を成し遂げてくれました。ここ数年、本県のレベルは決して他県に引けを取らないと感じていました。しかし、なかなか初戦の壁を破ることができず、接戦の末敗退することが多くありましたが、ようやく感じていることが間違いではないことを証明



少年男子サッカーチームのメンバーとスタッフの集合写真。

ていくことで今後の強化に期待が持てるものでした。技術委員会としても女子のトレセン活動等の充実をはかり、若年層の選手の発掘、強化を進めることで協力体制を整えていきたいと考えています。

利。準々決勝は常磐木学園高校を主体とし3連覇を目指す宮城県と対戦しましたが、残念ながら1対4で敗退しました。ボールを大切に先頭となり、中心となつていかなければならないと感じています。今回1つの成果を挙げる事ができましたが、さらに高い目標を共有し、強化を進めていきたいと思っております。県の強化に関わるすべての皆様には、今回のお礼とともに、今後の協力に引き続きお願い致します。

長崎国体を終えて

少年選抜監督 藤田 敬三

今回の長崎国体においては、ベスト4に進出することができました。大会を振り返ると新潟県がベスト4に入ったという結果の部外だけではなく、全国の舞台で強豪相手に対等に戦えたことと、その姿を多くのサッカー関係者に見せることが出来たことが収穫だと思います。

「4種・3種指導者の方々の努力」「トレセン活動の成果」、新潟県の育成が着実に進んでいます。

今回の結果は、新潟の選手に結びついてきていることがこの国体で証明できたと思います。

準決勝で優勝した神奈川県に結果的には敗れましたが、自分たちの積み上げを発揮することが出来ましたし、3位決定戦では京都府に対して互角以上の戦いが出来ました。何より本県で最終日まで残り、5ゲームを戦えたことはとても意義深い経験になったと思います。

今回の結果は、新潟の選手に結びついてきていることがこの国体で証明できたと思います。

準決勝で優勝した神奈川県に結果的には敗れましたが、自分たちの積み上げを発揮することが出来ましたし、3位決定戦では京都府に対して互角以上の戦いが出来ました。何より本県で最終日まで残り、5ゲームを戦えたことはとても意義深い経験になったと思います。

NiFA マスタープラン 2007 スタート

(一社)新潟県サッカー協会は、英語名: Niigata Football Association の略称を従来の NFA から NiFA に変更し、これを「ニーファ」と読みます。

また、新たなスタートを切る NiFA を象徴するシンボルマークを作成。4本の翼は新潟、上越、中越、下越の4地区協会を表し、新潟県の形も示しています。そして4地区協会の飛躍による新たな新潟のサッカーを GOAL に向かうサッカーボールで表現しました。さらに濃いブルーは新潟の空と海、地域に根ざした NiFA を表しています。NiFA はさまざまなシーンでこのシンボルマークを使用していきます。



NiFA の理念

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

NiFA のビジョン

- 1.新潟県におけるサッカーの普及に努め、全ての県民がサッカーに親しむ環境を作り上げる。他の競技団体と連携し、スポーツをより身近なものとする事で、県民の健康で豊かな生活をサポートする。
- 2.新潟県を代表するチームが日本のトップレベルで活躍できるようにサッカーの強化に努め、新潟県出身プレーヤーが国内外で活躍することで、県民に勇気・希望・感動をもたらす。
- 3.常にフェアプレーの精神を持ち、国内外の人々との友好を深め、社会に貢献する。

NiFA の目標 2015

- 2015年には、健全でゆるぎない組織となり、6つの目標を達成する。
- (1)新潟県内のサッカーファミリーが8万人となる。
 - (2)Jリーグ、Lリーグに新潟県出身プレーヤーを合計で10人以上輩出し、日本代表フル代表、年代別代表等に選出される選手を輩出する。
 - (3)各カテゴリーの全国大会において、新潟県チームのいずれかが常にベスト4以上の成績を修める。
 - (4)JFLに加盟するチームを育成する。
 - (5)各カテゴリーの全国大会、国際試合を誘致、運営する。

NiFA の目標 2050

- 2050年にむけて、組織基盤をさらに強固なものとし、2050年までに以下の目標を達成する。
- (1)新潟県内のサッカーファミリーが15万人となる。
 - (2)Jリーグ、Lリーグに新潟県出身プレーヤーが合計10人以上存在し続け、日本代表フル代表、年代別代表等に選出される選手を輩出し続ける。
 - (3)日本で FIFA ワールドカップが開催される際には、サッカー専用スタジアムで試合を開催する。



また、北信越大会や全国大会に繋がる、全シニア連盟は、4つの年代別のカテゴリーで4月から10月の間に、新発田中央公園、新津金屋運動広場、格蘭セナ新潟サッカースタジアム、太夫浜球技場、鳥屋野運動公園、長岡市ニュータウン運動公園や柿崎総合運動公園を会場に、新潟県シニアサッカーリーグを運営しています。

シニア連盟は、4つの年代別のカテゴリーで4月から10月の間に、新発田中央公園、新津金屋運動広場、格蘭セナ新潟サッカースタジアム、太夫浜球技場、鳥屋野運動公園、長岡市ニュータウン運動公園や柿崎総合運動公園を会場に、新潟県シニアサッカーリーグを運営しています。

35歳以上のリーグは7チーム、40歳以上は11チーム、50歳以上は6チーム、60歳以上は3チームの総当たり等でリーグ戦を、サッカーを楽しみながら時には真剣に行っています。今年度のリーグ戦は、35歳以上「JS・CLASSIC」、40歳以上「新潟四十雀」、50歳以上「SF長岡」、60歳以上「新潟四十雀60」が優勝しました。

また、北信越大会や全国大会に繋がる、全シニア連盟は、4つの年代別のカテゴリーで4月から10月の間に、新発田中央公園、新津金屋運動広場、格蘭セナ新潟サッカースタジアム、太夫浜球技場、鳥屋野運動公園、長岡市ニュータウン運動公園や柿崎総合運動公園を会場に、新潟県シニアサッカーリーグを運営しています。



シニア連盟の活動報告

新潟県シニア連盟 若杉 俊則



や職場で集まったチームが所属しています。毎週練習を行い勝負に拘るチームからサッカーを長く楽しむ事に主眼を置き個々の鍛錬に期待し親睦を中心に活動するチーム等、サッカー経験の無い方までを温かく受け入れてくれるチームがあります。

現在、1種の社会人リーグ等で活躍されている方は勿論、2種、3種及び4種で活動されているサッカーファミリーが、長く生涯に渡りサッカーを楽しめる環境を整えるためにも、シニア連盟は活動



新 潟

2014・フットボールデー開催

新潟市サッカー協会 理事長 佐々木 篤 行

8月31日、夏の日、天気は快晴の中、新潟市陸上競技場におきまして『2014・フットボールデー』を開催致しました。

今年も昨年同様に、新潟市内のレディースチーム対抗戦並びに、少年チーム・父兄チーム合同サッカー大会開催となりました。

レディース対抗戦はママさんを中心に参加を募り、多くの『サッカー』大好きな方々よりご賛同いただき開催することができ、皆様で楽しく・厳しく・激しくプレーをしていただきました。

昨年よりも技術向上が見られ、随所にプロ顔負けの素晴らしいプレーもあり、又、激しい接触プレーや、コミカルなプレーも見られました。やはり、素晴らしいピッチ（新潟市陸上競技場・天然芝）だと、レディースプレーヤーの方々もとても嬉しそうにサッカーをプレーされていました。

当日は、レディースと同時に少年チームの試合も行い、ジュニア・ジュニアユース年代……等の選手が学年の枠をこえて対戦するなど多くの試合が行われ、こちらも素晴らしいプレーが数多く見られました。

ご父兄の方々、チーム監督・コーチの方々も対戦に加わり、日頃はできない対戦を天然芝のピッチにたって試合を楽しんでいました。

8月31日の『2014・フットボールデー』は、皆様にとって『サッカーファミリー』である事を昨年以上に感じていただき、この大会を機会にファミリーの輪を一層広めていき、「soccer」を通じて各年代の壁がなく交流の場を提供していきけるよう、今後も意義ある大会にしていきたいと思っております。

尚、当日参加していただいたチームの皆様、運営にご協力いただいた関係者各位には、心より感謝し御礼を申し上げます。誠に有難うございました。



上 越

フットボールデーを開催して

上越地区 理事長 室橋 丈 司

県内外の小学生（5年生以下）が熱戦を繰り広げる「2014年度上越フットボールデー少年サッカー大会」（八人制）を九月六日・七日に新井運動公園にて開催しました。

大会には24チームが参加し一次リーグ・二次リーグを経て、順位決定戦を戦いました。12チームの県外チームを招待し、約五百名の選手がグラウンドを駆け回りました。

決勝は、江南南（埼玉）と小杉（富山）が激突。前半から江南南の圧倒的試合展開となりましたが、粘る小杉を自力に勝る江南南が2-0で退けました。

二日間とも天候に恵まれた大会は、子どもたちにとって忘れられない大切な思い出となったと確信しています。また、来年六年生となり、心も体も技術も大きく成長した姿に出会えることを期待しています。

日程調整出来なく上越地区で不参加のチームもありましたが、参加していただいたチームの皆さん、運営に協力いただいた上越地区の関係各位には、紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。



2014 フットボールデー

中 越

「JFA フットボールデー 2014in 十日町市」を開催して

中越地区サッカー協会 副会長 若山 裕
(十日町市サッカー協会)

9月7日（日）に本年もクロアチアピッチにて「JFA フットボールデー 2014in 十日町市」を、サッカーを見たことのあるけどボールを蹴ったことのない未体験な人（家族）を中心とし、こよなくサッカーを「する人」「観る人」「支える人」そして「応援する人」も対象とし90名の参加者で開催致しました。

「なでしこキッズサッカースクール」と称し、親子でサッカーを通してスポーツの楽しさを知ってもらう内容で、快晴の青空の下、手つなぎサッカーや複数ゴールでの試合でしっかりと親子の絆を確認し、世界基準クロアチアピッチの天然芝の感触を確かめるように全員で寝転んだり、子供チーム対親チームの変則ルールで対抗戦を行い、負けたチームは勝ったチームに対し賞賛をしっかりと贈り、勝者側はみんなハイタッチし感謝の意を表していました。

お父さんお母さんも子供たちと真剣に向き合い、サッカーを通してさらなる家族の絆を確かめられたと思います。全員で大きな輪をつくり全員でハイタッチをし、2時間という時間が足りないほどの満面の笑みでスクールは終了しました。

そして最後に恒例となりました参加者全員でバーベキューを行い、一日の感動や好プレー・珍プレーを思い出しながら語りあい、来年も是非開催を望む声が多くありましたので、来年度に向けて多くの方々のご協力を得ながら開催できればと思っております。そして、楽しいフットボールデーは無事に終了しました。



下 越

フットボールデーを開催して

下越地区サッカー協会 理事長 国枝 晴 隆

本年のフットボールデーでは、新発田地区、新発田カルチャーセンターで親子ふれあいサッカーを行いました。

親子を含め160名近くの参加があり、次世代につながる多くの子ども達がサッカーとふれあうことができている。これからも、選手・審判・指導者という登録者だけでなく、愛好者や多くのサポーターを含めたサッカーファミリーへ、サッカー環境を充実していくことに取り組んでいきたいと思っております。そして、更なるサッカーファミリー人口の増加、そして下越地区全体のサッカーレベルの向上を目的に更なる飛躍をめざして、努力、邁進していく所存であります。

最後に

（一社）新潟県サッカー協会が掲げる「サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。」という理念にもう一度立ち返り、明確な目標をもって進んでまいります。

今後とも下越地区サッカー協会をご支援いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



●●スマイル&チャレンジ●●

当協会にご支援いただいている法人各社

TONY テレビ新潟 BSN新潟放送 新潟日報
東北電力 総合生協 新潟県信用基金協会
2007年宣言の実現のため諸事業に取り組んでいます!!

東日本大震災 復興支援

がんばろうニッポン!

サッカーファミリーのチカラをひとつに!

皇后杯 北信越3枠独占!! いざ全国へ

「皇后杯に向けて」

アルビレックス新潟レディース U-18 監督
佐野 佑樹

皇后杯北信越大会は、非常に苦しい戦いの連続でしたが、皇后杯本大会への初出場を決めました。これも皆様方の支えがあったのことに感謝しております。

私たち、アルビレックス新潟レディースU-18は、高校生と中学生のチーム構成となっております。皇后杯では、高校生、中学生のチームが、どれぐらい通用するのか非常に楽しみです。なでしこリーグ、チャレンジリーグのチームとの対戦になりますが、自分たちのスタイルである前線からの激しいプレッシャーでボールを奪い、素早く相手ゴールにむかう。攻守の切り替えの速さ、ハードワークできる良さがどれほど通用するかチャレンジしたいと思います。

そして、残りの期間でさらにトレーニングを重ね、レベルアップをはかり、北信越の代表、新潟の代表としての責任や誇りをもって、チーム一丸となって1試合でも多く戦いたいです。

皆様の期待に応えられるように頑張りたいと思いますので、熱い応援よろしくお願いたします。



皇后杯全日本女子 サッカー選手権大会に向けて

新潟医療福祉大学女子サッカー部部长
秋山 隆之

部員一同、今年の女子サッカー日本一を決する「第36回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会」に出場できることを大変嬉しく思っております。これもひとえに、皆様のご支援とご指導の賜物と、深く感謝しております。

ご存じの通り、女子サッカーは新たなスポーツとして認知され、多くの方々が関心を寄せています。現在の女子サッカーは各カテゴリーにおいて、技術・戦術・体力ともに格段に進歩しています。そのような中で本大会に出場するチームは、高い目標を持ち、素晴らしいパフォーマンスにより、関心を寄せてくださる方々に応えなければなりません。

新潟医療福祉大学女子サッカー部は、11月29日(土)、テクノポート福井にてスフィード世田谷(関東第3代表)と対戦いたします。創部3年目の若いチームらしく、高い目標に向けて一戦一戦「大志」を抱いて戦いたいです。勝利を賭けて戦う選手たちに温かいご声援を心よりお願い申し上げます。



皇后杯全日本女子 サッカー選手権大会に向けて

JAPAN サッカーカレッジレディース監督
板垣 雄平

今年度で4年連続4回目の出場になります。北信越大会を初優勝して出場した年から4年が経ちます。この4年間、北信越大会を4連覇し続けての出場です。これまで様々な方のご支援とご指導があったのものであるとともに、チームとして、選手としての成長があったの4連覇という素晴らしい歴史です。

今大会は、チームの集大成を皇后杯で披露する！をテーマに毎年戦っておりますが、全国の壁は高く大きなものであり、未熟さを痛感いたします。

まだまだ未熟なチームではありますが、足元をしっかりと見据え、一步一步、全国への階段を登っていかうとする選手たちの直向きな努力を武器に、まずは1回戦突破を目指していきたく思います。



私達FC JEWELは18歳以上、上は？も少ないです。そんな私達ですが、大きな目標と掲げているのが『全国レディース大会』に出場することです。この大会の北信越大会に出場を重ねていますが、なかなか北信越の壁は破けず、未だ全国大会へは出場出来ていません。今年度も10月26日に富山県で北信越大会が開催されましたが、1回戦長野県代表の「長野フレンズ」に0-4で敗退という結果で終

わってしまいました。今年度もこの長野フレンズが優勝して、北信越代表で全国大会出場となりました。昨年も同じ対戦でしたが、0-5と敗退。なかなか勝てません。集まる機会が少ないチームですが、全国大会出場という大きな目標なのから、今年度も北信越大会を工夫をして、少しずつ進歩をしていくしかないと思っています。今年度も北信越大会で敗退という結果で終



10月13日(月・祝) 48名が参加し、ドリブに、新発田市五十公野公園陸上競技場にて、「JFAレディース/ガールズフエスティバル2014新潟in新発田」を開催しました。プレナスなでしこリーグのアルビレックス新潟レディース対浦和レッツダイヤモンズレディーズ戦の試合観戦もセットになったフェスティバルで、試合前に選手が戦う天然芝のピッチ上でクリニックを行いました。参加者は4歳から40歳までの

自分たちでサッカーをした後は国内最高峰のリーグを観戦とエスコートキッズも体験し、選手と触れ合える機会を得ることができました。また、このよ

わってしまいました。が、個々が「生涯スポーツ」としてサッカーを選び楽しみ、常に向上心もって臨んでいきます。来年度に向けた練習に工夫をこらし、大きな目標である『全国レディース大会』出場を目指し、また挑戦したいと思いま

「JFAレディース/ガールズフエスティバル 2014新潟in新発田」

新潟県サッカー協会女子委員会下越地区 榎本 恵子



“ゴールデンエイジ”の躍動!!

第 12 回 しんきんカップ

第 22 回 新津カップ

○しんきんカップ第 12 回新潟県キッズサッカー大会決勝トーナメント
平成 26 年 9 月 27 日 (土)、28 日 (日)
デンカビッグスワンスタジアム・新潟県スポーツ公園
決 勝 グランセナ新潟 FC 1-0 k F 3
優 勝 グランセナ新潟 FC
準優勝 k F 3
第 3 位 エスプリ長岡 FC、FC 大和ジュニオルス

○第 22 回新津カップ新潟県少年サッカー選手権大会 決勝トーナメント
平成 26 年 10 月 26 日 (日) 新津金屋運動広場
決 勝 アルビレックス新潟 U-12 2-1 グランセナ新潟 FC ジュニア
○第 22 回新津カップ新潟県少年サッカー 5 年生大会 決勝トーナメント
平成 26 年 10 月 26 日 (日) 阿賀野川水辺プラザ
決 勝 ジェス新潟東 SC 0-0 (PK 3-2) k F 3

「第二十二回新津カップ新潟県少年サッカー選手権大会」

アルビレックス新潟 U-12 監督 郷野 太郎

六月の全日本少年サッカー大会新潟県大会決勝での敗戦から、選手たちは日々、基本技術の積み重ねを大切にトレーニングを行ってきました。練習試合で課題をみつけ、トレーニングで改善し、うまくいかに我慢の日もたくさんありましたが、みんなが乗り越え技術面だけでなく、精神面も大きく成長することができました。今大会を優勝するこ



とができたことはとてもうれしいことですが、ライバルチームとの対戦や強豪チームとの対戦の中で選手達が成長できたことが何よりもうれしく思います。今後、一回りも二回りも成長できるように選手とともに日々のトレーニングの積み重ねを大切に、「アルビレックス新潟のトップチームで活躍する」という将来の目標に向けて良い経験を積んでもらいたいと思います。

「僕たちの代でも優勝したい」と思っていたのに、今年六年生になり、全日本少年サッカー大会新潟県大会でも敗戦した。それから、敗戦の悔しさをばねにチームの一人一人が努力し練習を重ね、この新津カップでは「絶対勝つ」という強い気持ちを持ってのぞみました。準決勝のエスプリ長岡戦は PK 戦の末に勝利し決勝に進むことが出来ました。決勝のグランセナ戦は試合開始早々に失点してしまい苦しい展開に

山田 彩翔 U-12 主将

僕たちは昨年の五年生大会の時、準決勝で敗戦し、北信越大会に行くことができませんでした。僕自身のことですが、三年生の時に、新津カップに出場させてもらい優勝することができ、北信越大会でも優勝することが出来ました。

「僕たちの代でも優勝したい」と思っていたのに、今年六年生になり、全日本少年サッカー大会新潟県大会でも敗戦した。それから、敗戦の悔しさをばねにチームの一人一人が努力し練習を重ね、この新津カップでは「絶対勝つ」という強い気持ちを持ってのぞみました。準決勝のエスプリ長岡戦は PK 戦の末に勝利し決勝に進むことが出来ました。決勝のグランセナ戦は試合開始早々に失点してしまい苦しい展開に



なりましたが「絶対勝つ」という強い気持ちでチーム一丸となつて戦えたので優勝することが出来たと思います。小学生年代の新津カップが最後の公式戦なので優勝することができてとてもうれしかったです。

後藤 諒 U-11 コーチ

この度、新津カップ新潟県大会優勝、2014 JFA 全農杯チプリンピック北信越大会出場を選手達が大いに喜びました。協力し掴み取った事をとても誇らしく思います。また満足感を感じさせない選手達には驚かされます。

長谷川 陽世 ジェス新潟東 SC 主将

僕達ジェス新潟東 SC は第二十二回新津カップです。そして何よりも選抜の「試合にかける思い」が素晴らしい結果に繋がった最大の要因だと感じています。選手個人、チームとしてまだまだ高められる所は沢山あります。重ねてきました。僕は、

その中でもパスやボールコントロールなどの基礎の質を上げようという意識で練習してきました。県大会の予選では、緊張してなかなか自分達のサッカーが出来ませんでした。決勝トーナメントでは、試合前にコーチとメンバー全員で「絶対勝つぞー」と円陣を組んだことが力になって、味方のボールに多く関わる事や、最後まであきらめないで戦い抜くことが出来ました。決勝は PK 戦でしたが、勝つてとても嬉しかったです。

新潟県キッズサッカー大会を終えて

U-10 監督 ジュリオ・セザール

この度、しんきんカップ新潟県キッズサッカー大会の優勝は、たくさんの方々からの支援なしには達成できないものではありませんでした。

大会運営に携わる皆様、対戦相手のチームの皆様、そしていつも応援してくださる保護者の皆様には感謝しております。

我々はしんきんカップが始まる前から本大会で優勝することを目標に練習をしてきました。

日々の練習では全員がライバルであり、チームメイトであり、よい雰囲気でのトレーニングを積んでおります。

新潟市西地区予選から順位決定トーナメント、そして県大会と油断のできない戦いが続き、試合を経るごとに選手たちは成長していきましました。

今回の大会で選手たちは緊張感のある中で、自分達の実力を出し切ることの難しさを感じていたのではないのでしょうか。

大会を通して人間として成長できたことが本大会で選手たちが得たものであり、それこそがサッカー選手

として大きく成長するために必要なものであると思います。最後にになりましたが、今回の大会をきっかけに選手達はさらに上を目指そうと意気込んでいます。これからも感謝の気持ちを忘れずに、サッカーがうまくなるために日々の練習に取り組んでいきたいと思えます。

しんきんカップ優勝

U-10 主将 川上 翔大

9月28日、僕達グランセナ新潟 FC U-10 は目標にできたしんきんカップで優勝することが出来ました。

僕は去年、グランセナの先輩や友達の手伝いでしんきんカップの決勝を見て、すごい試合を見た。その時、来年僕たちも絶対にここで優勝したい!と思えました。4年生になって、セザールコーチのきびしい練習や合宿や練習の後の自主練習をがんばりました。予選では雨の中の試合をしたり、PK になったり、けがをしてしばらくサッカーが出来なくてつらい時もありました。

ビッグスワンでは強いチームとの試合でピッチの時もあつたけどベンチやスタンドから大きな応援が聞こえて

絶対に負けない、あきらめないと、仲間を信じて戦いました。決勝は 0-0 延長で仲間のゴールが決まって優勝出来たときはうれしかったです。



全国には強いチームがたくさんあるので、僕達ももっと強いチームになれるように練習を頑張りたいです。

平成 27 年新春・講話とトークショー

- 期 日 平成 27 年 1 月 18 日 (日)
- 会 場 新潟県グラウンドホテル
- 講話・トークショー 5 階【常盤の間】
- 新年会 3 階【悠久の間】
- 1、講話会 (14 時予定) 講師 NHK サッカー解説者 山本 昌 邦氏
- 2、トークショー (15 時予定) アルビレックス新潟選手とのトークショー
- 3、今期報告と来期の抱負 (16 時予定) アルビレックス新潟・アルビレックス新潟レディースの両監督
- 4、新年会 (16 時 30 分) (2 時間程度を予定)



『目指せ！全国大会優勝！』

K A E T S U ・ L i v e n t o
主将 内山恵達

僕たち、K A E T S U ・ L i v e n t o は、下越地区トレセンの選抜メンバーで構成されています。

下越としては十六年ぶりにバーモントカップ県大会で優勝することができ、みんなとても喜んでくれたのでとても嬉しかったです。

大会前の練習は、トレセンの監督やコーチの方々に一生懸命に指導をしていただきました。

限られた時間の中でコミュニケーションをとりながら一人ひとりが集中し、チームワークを高めていきました。

予選リーグでは、全員出場で勝ち抜きことができチームの絆も深まり、決勝戦では前半一対三で負けていましたが後半同点に追いつき延長戦で逆転し勝利しました。

全国大会に行くという諦めない気持ちと応援してくれている人の気持ちに優勝へと導いてくれたと思います。

全国大会出場の際は、チーム全員が心を一つにして絶対勝つという強い気持ちで戦い、最後の一秒まで諦めず悔いの残らないようにプレーしたいと思います。



Table with 4 columns: 優勝 (U-12), 準優勝 (U-12), 第3位 (U-12), 全国大会の日程等. Includes details for K A E T S U and other teams.

第4種登録チームの皆様
2015(平成27)年度全日本少年サッカー大会
冬季移行に伴うお知らせ

第4種委員会

2015(平成27)年度の
4種大会等の日程の変更について

H26.11.30 新潟県サッカー協会第4種委員会

来年度 2015 (平成 27) 年度から、全日本少年サッカー大会の冬開催ならびにバーモント杯全日本少年フットサル大会の夏開催というふたつの全国大会の開催時季の変更に伴い、県内4種の各種大会等の日程が変更となります。

Table with 4 columns: 大会名, 年齢区分, 実施時期・場所 (平成26年度), 実施時期・場所 (平成27年度). Lists various tournaments like 全少大会, クルコフェスティバル, etc.

平成 25 年 10 月、U-12 サッカーリーグと全日本少年サッカー大会の参加条件や U-12 サッカーリーグの結果を全少大会の代表決定に反映させるという理事会決定が示されました。

U-12 リーグに関する決定事項

日本協会理事会決定事項

- 年間リーグ(8人制)をやり込み、テクニク(技術・判断)を向上させる。
■全少出場チームの決め方
・都道府県リーグに参加しているチームが全少に参加できる。
・都道府県代表決定はリーグの結果を反映させて行うものとし、代表決定のための大会方式については都道府県協会に委ねる。

【全日本少年サッカー大会都道府県大会 基本条件】

- 1 複数チームの参加がオープン
2 土日で最大2試合までを認める。(土曜1試合、日曜1試合 or 土曜か日曜に2試合)
3 都道府県予選の実施期間は11月の4週間で実施。
降雪地域(北海道・東北・北信越・鳥取・島根)は上記1~2までは同条件。
3 都道府県予選の実施期間は10月の4週間で実施。
※実施期間に関し、都道府県大会の出場チームが256チーム(8試合日)を越える場合に限り、10月の最終週の土日、もしくは12月の第1週の土日を含む5週間で開催を可能とする。
※チーム数や、地理的要因、その他各FAの事情に鑑み、4種委員長ならびに47FAユースダイレクターを中心に協議を行い判断していく。

【U-12 リーグに関する決定事項・懸案事項に対する Q&A】

Q1 年間20ゲーム程度とは実際何試合か?
A 最低9チームの総当たり戦(16試合)。8チームの2回戦制はNG(降雪地域であれば問題ない)

- Q2 リーグ戦は10月まで開催しないといけないのか?
A 10月に最低1節でもリーグ戦を入れること(降雪地域はこの限りではない)
Q3 複数部制を引くことは問題ないか?
A 部制を引くことは問題ない。
Q4 リーグ期間は4月~10月でなければならないのか?
A リーグ期間は4月~10月の間で開催(降雪地域は4月~9月)4月以降であればスタート時期は各FAに委ねる。
Q5 なぜ土日で最大2試合なのか?
A 年間を通して選手が健康にプレーできることを第一に考え、オーバーワークによる障害の回避とゲームの質の低下を考慮しゲームを2試合にする。
Q6 都道府県でついているスポンサーとリーグスポンサーの関係は?
A マーケティング部を中心に、2015年以降のマーケティングのスキームを検討中。(※尚、冠協賛社「全労済」・協賛社「ナイキジャパン」と同一業種のスポンサーの獲得はご遠慮いただくようお願いいたします。)
Q7 前後期制の入れ替えは可能なのか?
A 前期リーグ戦の結果を受けて、後期部制を引いて拮抗したリーグ戦を行うことは可能。
Q8 3連休における連戦の扱いはどうなるのか?
A 3試合(土曜日2試合、日曜日なし、月曜日1試合、もしくは土曜日1試合、日曜日なし、月曜日2試合)まで実施可能。
Q9 リーグ戦期間中に選手を移籍させてもいいのか?
A プレーヤーズファーストを踏まえた上で、移籍することは問題ない。
その他、移籍に関しては、4種委員長、ならびに47FAユースダイレクターを中心に協議を行い判断していく。
【レアケース】
Q10 都道府県を越えてのリーグ開催は認められるか?山間部地域では、生活圏内のチームが数チームしかなく、隣県の同様の問題を抱えている。
A 当該FAが認めれば実施可能。全少の予選の成績に関しては、県内に所属するリーグ戦参加チームの成績を反映させるなどして対応。
Q11 離島・山間部:生活圏でのチーム数(離島も含む)が少ない。
A 3・4回戦制でリーグ戦を実施(20ゲーム程度の試合を確保)することは可能である。また、FAが認めれば、U-13リーグに参加することも可能(8人制のリーグであることが前提)、また移動にも負担がかかるため、土日で3試合を認める(1試合の試合時間を短くする)
Q12 一部の地域はグラウンドがない(コンクリート)ため、8チーム2回戦を認めてほしい。
A 今後の検討事項
Q13 チーム数が多いため、複数チームを認めない(運営の問題)ことは問題ないか?
A 補欠0がリーグの基本要件なので、複数チームを希望するチームがあれば認める。(グラウンドや審判を自チームで手配できることが前提)。その代わりに、土日で3試合を認める。(1試合の試合時間を短くする)

【全少都道府県大会に関する決定事項・懸案事項に対する Q&A】

- Q1 地域・ブロック・支部予選は10月に実施してもいいのか?
A 地域・ブロック・支部予選も11月の4週間で実施すること(10月の実施は認めない)⇒降雪地域はこの限りではない。
Q2 3連休における連戦の扱いはどうなるのか?
A 4試合(土曜日2試合、日曜日なし、月曜日2試合まで)実施可能。
Q3 リーグ戦と都道府県大会は全員同じチームメンバーで参加しないといけないのか?
A 所属チーム内であれば、同じメンバーで参加しなくても構わない。
Q4 複数チームをリーグ戦に出場させている場合、都道府県大会に出場チームを変更して出場可能か?
A 特別な理由(選手の引越や怪我)がない限り、リーグ戦に参加しているチーム数と同じチーム数で参加、特別な理由に該当するかは、各都道府県で判断する。
但し、リーグ戦の終了時によって残存した出場停止処分については、順次、次の公式戦(都道府県大会など)に適用される。
なお、都道府県大会と全国大会は懲罰上同一大会扱いである。都道府県大会での出場停止処分(退場)は全国大会に持ち越す。
【レアケース】
Q7 11月学校行事(運動会等)で予選を開催できない場合は?
A 10月最終週の土日、もしくは12月1週目の土日を含む5週間で開催可能とする。

【U-12 リーグ戦・全少新潟県大会について】

- U-12 リーグ戦
1 リーグ戦参加が全少新潟県大会への参加条件となる。
2 4月~9月に県内4地区8ブロック内でそれぞれ決められたリーグ戦を行う。
●全少新潟県大会について(2014年度は171チームがエントリー)
1 U-12 リーグ戦参加チームが出場できる。
2 10月1週土日、3週土日、11月1日、11月8日の4週6日間にトーナメント戦で行う。
3 トーナメント戦では、U-12 リーグ戦の結果を決められた内容で反映させる。